

令和2年度第1回白井市総合計画審議会（書面会議）

議事概要

日時：令和2年4月15日（水）～4月27日（月）

方法：全委員に審議関係資料を送付し、意見書を受領

委員：関谷 昇会長、助友 裕子副会長、手塚 崇子委員、黒添 誠委員、  
松本 千代子委員、鈴木 康弘委員、秋本 茂雄委員、藤田 均委員、  
野水 俊夫委員、近藤 恭子委員、鈴木フミ子委員、橋本 哲弥委員、  
山本 昌弘委員、佐藤 峰委員

議題

（1）後期基本計画（素案）について

委員からの質問及び意見

【全般】

No	資料番号等	区分	内容
1	資料1 P.1	質問	【（4）計画の体系】 国土強靱化地域計画による他業の事業追加はあるのか。
2	資料1 P.2	質問	【（5）財政の見通し】 今回のような未曾有の新型コロナウイルス感染症のような場合は、地方交付税で賄うのか。
3	資料1 P.2 資料2	意見	【（5）財政の見通し】 新型コロナウイルス感染禍により、来年度以降、財政の見通しの大幅な修正が必要となるであろう。
4	資料1 P.2 資料2	意見	【（5）財政の見通し】 “計画事業費”の待機児童対策とその費用とはどのようなものか
5	資料1 P.2 資料2	意見	【（5）財政の見通し】 資料2も併せて拝見しましたが、結局どういうことかよくわからない。財政は健全で問題がないのか、どんな課題があるのか、例えば、財政健全度の観点からどうかなど、もう少し明確に書いてはどうか。（印象として随分市税の割合が高いと思う。）
6	資料1 P.2	意見	【（6）計画の推進にあたっての基本的な考え方】 白井は割と市民税が高いので、市民自治と言っても、市としては、その税収に見合うサービスを提供する義務もあると思う。市としてはここをやるということはきちんと書いてはどうか。なんでもかんでも市民自治という、丸投げされている感じがして不信感が沸くのでは。
7	資料1 P.2	質問	【（6）計画の推進にあたっての基本的な考え方】 行政は、市民自治を主体に考え、それを市が補完していくとあるが、住民意識調査（P.38）の市民参加・協働の取組に対し、福祉（P.40）の施策に対する「重要」と考えら

			れていることが高くなっている一方、地区社協の高齢化をまちづくり協議会でカバーしてもらおうのか。実態から難しい面をどのように後期基本計画に盛り込んでいかれるのか。
8	資料 1 P. 3	意見	【後期基本計画の体系】 今般の新型コロナウイルス感染禍を受けて、3つの戦略に加えて「市民の生命・健康を守るプロジェクト」を加える必要はないのか。
9	資料 1 P. 3	意見	【後期基本計画の体系】 健康なまちづくりというのは、今回新しく追加された要素のように思う。地域拠点でつながる、ということだけで大変なので、そこに健康を入れるのは盛りすぎではないか。（実現できなさそうである。）どちらかという災害対策をここに持ってきた方が、多世代が納得すると思う。
10	資料 1 P. 4	質問	【後期基本計画の体系（まちづくりの進め方）】 「2. 持続可能な行財政運営」に、「財政状況が厳しくなることが予想される中、・・・」とあるが、2頁の表でそのことが言えるのか。
11	資料 1 P. 7 ほか 資料 3	意見	「取組指標」の表中にある「出典等」の「担当課調べ」は少々わかりづらい。年度によって担当課が変わるという意味であれば、年度と担当課名をセットで記しておいた方がわかりやすいと思う。
12	資料 1 P. 7 ほか	意見	「取組指標」のところ、「現状値」「目標値」の並びを逆にした方が良いと思います。「現状値」と「出典等」はセットで見た方が誤解がない。
13	資料 1 P. 8 ほか	意見	それぞれの戦略についても、期待される効果の下のスペースに、「実現への具体的な課題」を書いてはどうか。課題認識がないものは実現もしにくいように思う。

【戦略1 若い世代定住プロジェクト】

No	資料番号等	区分	内容
14	資料 1 P. 5	意見	若い世代を※で定義しないと誰のことかわかりにくいと思う。（それよりも気になるのが、50歳以上で子どもの手が離れたような層が、移住したい割合が高いことであるが・・・。）
15	資料 1 P. 9・10	意見	【働く場を生み出すまちづくり】 全体的に取組が具体的になり、わかりやすくなった。白井市に働く場を生み出すには、様々な角度から取り組まなければいけないことがわかる。白井市や近隣市で就業を考える若者も必ずいるし、一度出ても事情があり、戻ってくる者もいる。働き方や職種は多種多様だが、就業を考える者のために様々な機会や支援があることを示していくべきである。

16	資料 1 P. 9	意見	【働く場を生み出すまちづくり】 取組指標に、域内でのネットワーク形成（ノウハウの交換会など）を加えてはどうか。（割と達成が難しそうな指標が多いので。）
17	資料 1 P. 4・11	意見	【子育てしたくなるまちづくり】 「(1)利便性の高い場所での保育機会の確保」とあるが、「保育の質」には全く触れていない、「質の高い保育の確保」等にしてほしい。 また、親支援というよりも「保護者支援」が子育て支援には必要なので保護者支援というキーワードが必要である。
18	資料 1 P. 11	意見	【子育てしたくなるまちづくり】 取組指標の ICT 整備率は、現状から考えて、無理ではないか。もう少し下方修正した方がいいように思う。
19	資料 1 P. 12 資料 6 P61	意見	【子育てしたくなるまちづくり】 資料には「地域での親や子供たちの居場所づくり」「高齢者と子供の交流で特化」とあるが、佐倉市などにある幼-老施設を参考にしてはどうか。市民団体による子供の居場所づくりが今後増えるとあるが、月 1 サロンに参加している元気な高齢者と学校帰りの子供たち、あるいは引きこもりの子供たちも参加できる環境作りをしてはどうか。
20	資料 1 P. 11 資料 3 戦略 1-3	質問	【子育てしたくなるまちづくり】 合計特殊出生率について、現状値 1.36 に対して目標値が 1.35 に下がるのはなぜか。
21	資料 3 戦略 1-3	質問	【子育てしたくなるまちづくり】 地域の居場所数のうち「市民団体による子どもの居場所の数」とあるが、児童館のことか。今後 3 カ所はどこを考えているのか。

### 【戦略 2 みどり活用プロジェクト】

No	資料番号等	区分	内容
22	資料 1 P. 13～16	意見	【かかわれる農のまちづくり】 ニュータウン、新興住宅に隣接する梨農家の課題の一つは令和元年度の会議でも意見を述べた薬剤散布である。梨生産農家と市民が共存共栄していく中で、レポート（農業者の声）の内容は重要だと思う。多くの農業者の声を発展的にまとめて欲しい。
23	資料 1 P. 14	意見	【かかわれる農のまちづくり】 各項目の「レポート欄」については、「困っていること」よりも「課題」を明らかにし、それをクリアするために何が必要かを具体的にいくつか書き出す（引き出す）等の工夫は必要ではないか。
24	資料 1 P. 15	意見	【かかわれる農のまちづくり】 (2) 農商工～ブランド化とあるが、本当にブランド化するのならば、期限を設けて計画的に行なわなければ、総

			合計画に継続的に描き続けるだけのものになってしまうのではないかと。何が課題なのかを明らかにするためにも、「レポート欄」をうまく利用することができるのではないかと。
25	資料 1 P. 15	質問	【かかわれる農のまちづくり】 成果指標が現状維持、取組指標にも耕作放棄地のことが全く書かれていないが、それで大丈夫か。
26	資料 1 P. 16	意見	【かかわれる農のまちづくり】 「期待される効果」の重要な点として、「農業経営の安定化」に「支援」という文言を追加するべきではないか。 →農業所得の向上と農業経営の安定化と支援 (P. 13 の農業者数と農業人口の推移 (継承者減) )
27	資料 3 戦略 1-3	質問	【かかわれる農のまちづくり】 新規就農者数が年々増えているのは白井市として嬉しいことだが、どのようなやり方でどのような人が新規就農者となりうるのか。
28	資料 3 戦略 1-3	質問	【かかわれる農のまちづくり】 「梨の農協出荷量」を指標に取り入れた意味は何か。独自のルートや販売所で販売する梨農家もあると思うが、農協への出荷量を目標値とするのはどんな戦略に基づいているのか。
29	資料 1 P. 17	質問	【みどりを育み活かすまちづくり】 法的には里山里地については、その所有者が、何か (例えば火事など) あった時の責任を負うはずである。地権者 (市にせよ個人にせよ) への働きかけが全くないのは、まずいのではないかと。現状では、どのような取組がされているのか。

### 【戦略 3 拠点創造プロジェクト】

No	資料番号等	区分	内容
30	資料 1 P. 21	質問	【都市拠点がにぎわうまちづくり】 工業団地内の道路は整備されていても、どの方向に抜けるにも先細り感があります。道路整備が待たれますが、16号への出入りは混雑した白井交差点ではなく、すいている富塚交差点に徹底できないか。
31	資料 1 P. 21	質問	【都市拠点がにぎわうまちづくり】 生活拠点内事業所数の目標値が「増加」とあり、数値が示されないのはなぜか。
32	資料 1 P. 23	意見	【地域拠点でつながる健康なまちづくり】 「健康なまちづくり」と言いつつ、取組指標が全くないのはまずいと思う。
33	資料 1 P. 26	意見	【拠点を結ぶまちづくり】 交通網が発達している街ならばこの言葉に納得できるが、電車の高運賃、ナッシー号のルート変更、減便の状況下でどのように利便性の向上を進めるのか。

34	資料 1 P. 26	意見	【拠点を結ぶまちづくり】 ますます利用しづらくなっているナッシー号の代わりに、その費用を割引券（特に高齢者等の交通弱者向け）として発行し、京成バスを利用できるようにしてはどうか。
35	資料 1 P. 25	質問	【拠点を結ぶまちづくり】 成果指標がこれでいいのかよくわからない。物流・人流の話ではないのか。
36	資料 1 P. 26	質問	【拠点を結ぶまちづくり】 安全な道路環境の形成、中心的な効果の中に整備とは、北環状道路も含まれた内容か。

【横断的視点 災害に強いまちづくり】

No	資料番号等	区分	内容
37	資料 1 P. 27	意見	「基本的な考え方」の冒頭部分、「これまで大きな災害に見舞われることはありませんでしたが」は、客観的記述のため、例えば、豪雨災害で甚大な影響を受けた梨農家など一部の市民の方が心を痛めるおそれがあるので、この部分は削除してもよいのではないかと。
38	資料 1 P. 27	意見	ここにあっても、指標がないものは取り組まれないし、かなり重要な課題だと思う。2-2（グリーンインフラの考え方）および3-2（災害時のネットワークや共助）として、きちんと入れ込んだ方がよいと思う。
39	資料 1 P. 28	意見	“住民意識調査”ではまだ不満足度が高いことについては、東日本大震災後、学校内井戸・資機材の整備が進んでいるように思うが、災害時にリーダーシップをとれる人材がどれほどいるのか疑問である。市の会合、講演会に出席したときに防災意識、経験レベルが高い市民の方々がいたので、そのような方々を組織しておけばと思うがどうか。（印西市防災課には女性消防団というものがあると聞いている）
40	資料 1 P. 28	意見	自主防災組織への支援について、設立までの支援は早くなったが、災害時の具体的な対応は考えているのか。

【その他】

No	資料番号等	区分	内容
41	資料 1 P. 29	意見	「戦略3」の「3-2 (3) ライフステージに応じた健康づくりの推進」は、「産業・雇用」分野とも関連がある。WHOでは、2008年より健康の社会的決定要因委員会を立ち上げ、産業・雇用といった社会経済的要因が健康に与える影響の大きさについて説明し続けている。こうなると、健康づくりは、すべての分野の有機的連携が必要不可欠な取組であることが分かる。
42	資料 1 P. 31・32	意見	用語の説明があるのは非常に良い。

43	資料3	意見	この目標値一覧を、資料1の「第5次総合計画後期基本計画」にも入れていただきたい。欲を言えば、それぞれの指標名に簡単な説明を加えると良いと思う。(例：分母と分子の説明、満足度などはどのような質問にどのように回答したものなのか、など。)
44	資料5 戦 略3-1	意見	市全体で同じような商業施設が散在しているが、街の中心がどこなのか、わかりやすいように街をデザインしていくことはできないか。
45	資料6	意見	とても貴重なデータだと思う。本報告書では、グループごとのディスカッション結果がまとめられている。この状況から、さらに参加者の「総意」を施策の参考とするためには、各グループでまとめられたカテゴリ名を集約し、さらに大きなカテゴリを形成するようにして事務局でまとめると、抽象化されたテーマが見えてくる。つまり、例えばP.2にある【交通の利便性】【商業振興】【子育て】といったカテゴリは、他のグループでも似た意味合いでまとめられたカテゴリとなっていないか？市民がまとめたそれぞれの言葉を生かしながら、事務局の方で抽象化してまとめる。それを報告書の冒頭ページなどでまとめ、策定の参考にしていけばよいと思う。
46	資料6 P.63	意見	休耕地の農地活用として、市が中心となり、農家の方の協力を得ながら小田急がやっているような、初心者でも気軽に利用できる貸農園をやってはどうか。援農ボランティアにもつなげられれば良いのではないかと思う。